

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「積極的にチャレンジし、自らの将来を切り拓く人材を育成する夜間定時制高校」 保護者や地域と連携しながら、生徒一人一人の個性に沿った教育活動を展開し、地域から信頼される人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立の基礎的な学力、体力、コミュニケーション力、豊かな心の育成 ・自他の理解を深め、互いの個性と人権を尊重しあう態度の育成 ・協働の喜びや達成感の醸成を行い、自己肯定感を高め、地域に信頼され、地域を支える人材の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校段階の学び直しを取り入れ、丁寧な指導を実施 ・3年間でも卒業できるようにカリキュラムを設定し、個に応じた学びを支援 ・教員の指導は生徒を安全に守る最低限にし、生徒が主体的に自分で考え、行動できるように教育活動全体を通じて教員がサポート ・定期的な進路指導や進路ガイダンスを実施し、資格(コンピューター関連)取得を目指したカリキュラムを設定
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの可能性を信じ、努力し続ける強い意志を持ち、目標実現に向けて積極的に挑戦しようとする人 ・物事の本質を見極め、自ら主体的に判断し選択する力を身につけ、決まりを守って正しい行動ができる人

学校運営計画(4月)			
学校運営方針	校訓「聡明・自立・敬愛」を拠り所に、社会的自立の基盤となる学力、体力、豊かな心を培うとともに、社会の変化に対応し、社会を支え、その発展に寄与する人材を育成する		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>全職員で情報を共有することができ、スムーズな学校運営、及び生徒へのきめ細やかな指導ができた。生徒の出席率は86.8%、授業の満足度は3.4であり良好であった。今後はタブレット端末をはじめとするICT機器を有効活用した授業改善を行い、指導と評価の一体化を推進する。また、自他の理解を深め、互いの個性と人権を尊重しあう態度を育てるとともに、協働の喜びや達成感の醸成を行い、自己肯定感を高めることができるような生徒を育成する。</p>	<p>確かな学力とコミュニケーション能力の向上を目指した授業づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々の学力を把握し、段階的に基礎学力の習熟を図る。 ・ICT機器・一人一台タブレットを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を推進し、思考力・判断力・表現力を育成する。 	
	<p>自信と志を育成するキャリア教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークと連携しながら職場開拓を行い、生徒の就学と就業を積極的に支援する。 ・定期的な進路調査や学校行事等によって、自己の進路に希望を持たせる指導を行い、進路目標実現に向けた積極的な取り組みを促す。 	
	<p>生徒理解に努め、情報を共有し、「ほめて伸ばす」指導により、生徒の可能性を拡大する生徒指導体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動に積極的に関わらせるとともに、様々な取り組みへのチャレンジを促す。 ・生徒が安心・安全に過ごせる校内環境を整備し、生徒の自己実現を積極的に支援する。 	
	<p>広報活動の充実と外部機関との連携による情報の収集</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内、朝高通信、HPの作成により、学校内外へ生徒の活躍を発信する。 ・定期的な親の会、中学校等訪問を通じ、生徒の情報を収集し、共有する。 	
	<p>「チーム朝倉定時」としての指導体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な情報交換会を行い、情報を共有し、生徒理解を深める。 ・職員研修会や外部機関との連携により、教育相談力、生徒指導力を向上させる。 	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教科指導	指導と評価の一体化を図る	年間学習指導計画書を利用し、PDCAサイクルを回すことで指導改善を絶えず行う。	授業評価アンケート	
		学習評価の方針を事前に生徒と共有するとともに、フィードバックする際にも改めて生徒と共有することで、生徒の学習改善を図る。		
		観点別学習状況の評価や評定では示しきれない生徒一人一人のよい点や可能性、進捗の状況などを「個人内評価」として実施し、生徒が学習したことの意義や価値を実感できるよう日々の教育活動の中で生徒に伝える。		
	全員の進級、卒業を目指す	年間平均出席率90%以上を目指し、全職員が全生徒の担任のつもりで指導にあたる。	学校生活アンケート 出席率	
学期ごとに補講を実施し、基礎学力の確保及び進級・卒業を目指す態度を育てる。 出席に問題のある生徒に各教科から課題を提供し、学習意欲及び進級・卒業の意欲を維持する。				
生徒の満足度の高い授業をする(4段階評価)3.5点以上	楽しく学びがいのある授業を実施することで良好な人間関係を形成し、学習意欲を高める。 生徒の学びに寄り添いながら「わかった、できた」と実感できる授業を実施し、学びに向かう態度を育み、基礎学力の定着を図る。	授業評価アンケート		
	ICT機器・一人1台タブレットの利用や、主体的・対話的で深い学びにより、生徒が互いに助け合い、課題を解決しようとする態度を育成する。			
生徒理解に努め、情報を共有し、生徒が安心して学べる授業環境を整備する	家庭訪問、中学校訪問・前籍校訪問を実施し、家庭環境や生育歴及び学習に対する取り組み方や集団生活に関する情報を収集し、指導に生かしていく。	学校生活アンケート		
	新入生基礎学力観察週間を年度の始めに実施し、個々の学力を把握・共有し、生徒の実態に応じた指導に努める。			
	特別支援教育の視点に立ち、うまくいった指導方法とうまくいかなかった指導方法を情報交換会で共有し、様々な生徒の特性に対応した授業を実施する。			
生徒指導	集団の一員としての自覚を育てるための生徒会活動を活性化させる	生徒会役員会の定例化	行事後アンケート	
		行事等の生徒会への適切な役割分担と職員による評価・声かけ		
		アンケート調査による生徒の意見を反映した行事計画		
	生徒理解のための職員の積極的な生徒との関係づくりと生徒の変化を掴むきめ細やかな生徒指導の早めの取り組み	日ごろから生徒へ積極的な声かけ	学校生活アンケート	
		家庭訪問・電話連絡等による保護者との連携		
		生徒情報交換会の一層の充実		
		教育相談力・生徒指導力向上のための職員研修会・研修伝達会の実施		
	落ち着いた学習の場としての秩序ある学校づくりや交通法規をはじめとした遵法精神の育成と社会でのマナー体得	授業規律の徹底(授業は最大の生徒指導の場)	授業評価アンケート	
		交通安全教室・防災意識の向上教育等、安全指導の充実		
		自動車通学届の徹底・自転車保険の加入促進		
不測の事態(天災・不審者等)に対する危機管理の徹底。				
いじめを引き起こさない集団づくりと環境整備、ネットトラブルの未然防止	毎月のいじめに関するアンケートの実施	いじめアンケート		
	いじめに関する職員の研修会実施			
	ネット・パトロールの活用			
進路指導	ハローワークと連携しながら生徒の就労を支援する	ハローワークと連携し、生徒の就労を支援し、規律のある生活を促す。	進路希望調査 就職率 進学率 離職率	
		職場訪問を行い、生徒就労状況を把握する。		
		定期的に就労状況を把握し、就労促進に役立てる。		
	キャリア教育を推進する。	外部講師や上級学校の担当者を招き、進路ガイダンスを年2回実施し、幅広く進路情報を提供する。	進路希望調査	
		定期的に進路希望調査を行い、生徒一人一人の進路実現に向けた組織的な指導に役立てる。		
		生徒一人一人の希望や能力に応じた資格・検定試験や模擬試験へのチャレンジを促す。		
卒業予定者の進路希望実現へ向けて、最大限の支援をする	ハローワークと連携し、個々に最適な就職を支援する。	進路希望調査		
	進学希望者に対し、学年を中心に組織的に支援する。 進学希望者へ向けて各種奨学金等の案内を行う。			

様式3

保健	生徒が心身ともに健康で安全な楽しい生活を自ら実践できるように支援する	健康診断や日常の健康観察で、生徒一人ひとりの健康状態の把握に努め、適切な支援・指導を行う。	給食アンケート	
		情報交換会で生徒の心身の健康面についての情報を提供し、共通理解を図る		
		食中毒や県先勝の予防・対策・事後措置を実施する。		
		応急処置(救急搬送・一時救命)に関する職員研修を実施する。		
	食育を推進する	校内及び家庭に向けて楽しく元気に生活できるように保健だよりを発行する。	保健アンケート	
		食育指導を通じて給食への関心を高めさせ、給食を通じて「食べる」ことの幸せを体感させ、空腹の解消を図る。		
	心身の健康を保持増進し、よりよい人間関係を気付く生徒を育成するために支援する。	卒業予定者を対象に「テーブルマナー」講習会を実施する。	保健アンケート	
情報交換会で職員間の共通理解を図り、自立を支援する。				
生徒保健委員会活動を通じて保健委員が自覚と責任を持ち、生徒の主体的な活動となるようにする	関係機関が実施する研修に関する情報を提供し、職員の教育相談能力の向上に資するよう努める。	保健アンケート		
	担任による個人面談や教育相談を充実させる等丁寧な細やかな対応に努める。			
薬物乱用防止教育・性教育などの健康教育の充実を図る	本年度筑後支部の保健会事務局であるので情報交換や交流に努め、記憶に残るような研修を実施し、卒業後につなげる。	保健アンケート		
特別支援教育の推進を図る	生徒指導部と連携し、薬物乱用防止講演会や特設授業を実施する。性教育に関しては個別に対応する時間を確保する。	保健アンケート		
	引継ぎシートを提出した生徒に関して、丁寧に適切な対応を行い、当該生徒の学校生活の充実度の向上・困った感の早期発見に努める。	学校生活アンケート		
職員研修及び広報	職員研修を推進する	関連機関等での特別支援教育の研修会の内容を職員に還元し、合理的配慮・インクルーシブ教育において性と個々に必要な特別支援教育の検討と充実を図る。	研修会後アンケート	
		指導目標をもって「授業公開週間」に臨み、研究協議では指導目標の達成状況について協議し、授業改善に生かす。		
		情報交換会や文書の回覧において校外での研修を共有する。		
		全職員に各種研修会への参加を促す。		
	生徒の健全な育成のために、地域、家庭との連携を図る	人権教育特設授業を充実させるため、校内研修を実施する。	いじめ等早期発見のための家庭用チェックリスト	
		入学生との出身中学を1学期に訪問し、中学校と情報交換を行う。		
転入生の前籍高校を1学期に訪問し、情報交換を行う。				
本校の教育活動の成果について、地域、家庭に積極的な広報活動を行う	保護者会や親の会を活用し、保護者と連携する。	行事後アンケート		
	学校パンフレット、HPや朝倉通信で学校内外へ生徒の活躍を発信する。			
地域文化への理解と進路意識の確立のために「未来を切り拓く人材育成事業」を活用する	中学校訪問を利用して広報活動を行う。	行事後アンケート		
人権教育	教育活動の全体を通じて組織的に人権教育を推進する	部落問題をはじめ様々な人権課題を学ぶ人権特設授業を充実させる。	気になる生徒の情報交換会	
		教科指導、生徒指導、進路指導等、日常の教育活動を通じて人権教育を充実させる。		
全職員が人権教育についての共通理解を深める	生徒が人権問題を自分や仲間にかかわる身近なものとしてとらえることができる指導を行う。	職員アンケート		
				全職員で人権教育の研修に積極的に取り組む態勢を整える。